

平成30年 丹波市10大ニュース一覧

タイトル及び説明	
1	<p>丹波市初 大雨特別警報発表・平成30年7月豪雨災害による甚大な被害発生</p> <p>九州地方から中部地方にかけて停滞した梅雨前線が活発化し、7月5日から7日にかけて兵庫県では断続的に雨脚が強まった。丹波市では6日午前11時02分に「大雨警報（土砂災害）」及び「洪水警報」、7日午前0時41分に「土砂災害警戒情報」が発表され、さらに7日午前1時22分には丹波市に初めて「大雨特別警報」が発表された。7日午前1時から2時までの時間最大雨量は稲継観測所で69mm、降り始めからの総雨量は北和田観測所で499mmを記録するなど、多くの地域で浸水や通行止め、土砂災害が発生し、丹波市全域に被害をもたらした。被害状況は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的被害 3名（軽症） ・住家被害 半壊1棟、一部破損1棟、床上浸水11棟、床下浸水211棟 ・その他被害 農業用施設189箇所、農地178箇所、林地崩壊等29箇所、林業用施設31箇所 道路70箇所、河川164箇所
2	<p>秋篠宮妃殿下 来丹 母子愛育活動をご視察</p> <p>秋篠宮妃殿下が11月14日、氷上保健センターに来庁され、子育て支援や高齢者の見守り活動をご視察された。</p> <p>妃殿下は恩賜財団母子愛育会の総裁として、国内各地で愛育班活動のご視察を続けられている。</p> <p>丹波市は兵庫県内で最も早く愛育班が結成され、その後60年余りにわたり声かけや交流会などで母子保健や健康づくりに取り組んできた。</p> <p>妃殿下は愛育班員親子の調理実習をご覧になったほか、県内の愛育活動の説明をお聞きになり、班員や育成者と親しくご懇談された。</p>
3	<p>未来都市創造審議会 新しい都市構造の検討がはじまる</p> <p>さらなる人口減少・高齢化、統合新病院の建設など丹波市の将来のまちの変化を見据えた持続可能な新しいまちづくりにむけて、将来のめざすべき都市構造（都市像）とその実現を図るための取り組みを明らかにした「まちづくりビジョン」の策定に向け審議会を設置し検討を始めた。</p>
4	<p>廃校利活用フェア2018inたんばCITYの開催・初の廃校への企業進出</p> <p>3月2日、企業と廃校を抱える自治体が交流商談できるマッチングイベント「廃校利活用フェア2018inたんばCITY」を大学生グループと市の協働により旧遠阪小学校で開催した。</p> <p>また、4月には、旧芦田小学校に発達障がいのある子どもたちを運動療法でサポートする通所施設「児童発達支援センターえがお 芦田」がオープンした。</p>
5	<p>ふるさとを想う「丹波市の歌 このまちとともに」の完成</p> <p>だれもがふるさとを想いながら口ずさめる歌を目指して、平成29年度から取り組んできた丹波市の歌が完成した。</p> <p>世界を舞台に活躍されている千住明さんの作曲と、身近にあふれる丹波市の魅力を分かりやすい言葉で表現された丹波市在住の秋山知美さんの作詞によるものです。歌詞は、全国から563点もの応募があり、厳正な審査により秋山知美さんの歌詞が最優秀賞に選ばれた。</p>

平成30年 丹波市10大ニュース一覧

タイトル及び説明	
6	<p>ケント市・オーバン市姉妹都市提携を締結</p> <p>8月10日に市長及び議長などが訪米し、アメリカ合衆国ワシントン州ケント市・オーバン市と姉妹都市提携を締結した。</p> <p>両市とは、市民の皆さんが主体となって交流を深めてこられた50年にわたる長い歴史があります。今後も多くの皆さんのご協力とご参加をいただきながら、お互いの理解と信頼関係によって、産業、文化、教育など様々な分野で実りある関係を構築していく。</p>
7	<p>恐竜化石を活用した連携・取り組み (にっぽん恐竜協議会・丹波竜フェスタ・ちーたんの館来館者30万人突破)</p> <p>12月2日に、丹波竜の魅力を広く発信するため「丹波竜フェスタ2018」を開催した。丹波竜フェスタの開催に合わせ「にっぽん恐竜協議会」の第1回総会を開催し、新たに群馬県神流町の加入についての承認やこれからの取り組みについて話し合った。</p> <p>また、「恐竜化石を活用した自治体連携に伴う基本協定書」に基づき、9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震で被災された北海道むかわ町に、計3回6名の職員を派遣した。現地では、避難所運営や物資の仕分け作業、ドローンを活用した被害調査などの支援を行なった。</p> <p>丹波竜化石工房「ちーたんの館」の来館者数は、年々増加傾向にあり7月11日には30万人を突破し、記念イベントを開催した。今後も、展示内容の充実を図るとともに、新規に導入したVRの活用や企画展の充実などを実施し、リピーターの確保等に努め、来館者増を目指す。</p>
8	<p>8名の恐竜大使 北海道むかわ町へ！ ～恐竜化石を活かした交流学习「竜学」～</p> <p>丹波市では、平成23年度から小学校6年生理科の学習と関連させ、丹波竜の化石等を活用した授業を展開している。</p> <p>11月には、その学習の一環として同じように恐竜化石が発見された北海道むかわ町へ市内の小学校6年生8名が恐竜大使として訪問し、現地学習をするとともに、丹波市や丹波市の学習をむかわ町の小学生に紹介する交流学习を実施した。</p>
9	<p>2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」放送の決定</p> <p>篠山市、福知山市、亀岡市、長岡京市など11市町が連携した「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」に参画し、明智光秀や娘細川ガラシャなどを主人公とした大河ドラマ誘致に取り組んできたが、4月に明智光秀を主人公とした大河ドラマ「麒麟がくる」の放送決定が発表された。</p> <p>丹波市は、明智光秀の丹波攻めの舞台となった黒井城を有しており、大河ドラマ放送を契機とし、ゆかりの地として内外に広くPRし、市内への入込客数の増加を目指す。</p>
10	<p>過去最高3位入賞 県消防操法大会 丹波市代表春日支団</p> <p>7月22日、県立広域防災センターで開催された第27回兵庫県消防操法大会ポンプ車の部で、丹波市代表の春日支団第1分団第2部が、丹波市として過去最高の3位入賞を果たした。</p>